わたしの避難準備シートその1 (災害時の避難情報)

平常	時の外部	への情報提供		■ 同意する		□ 同意しない		作成日: 令和 ● 年 ● 月 ● 日						B			
フリガナ		サッポロ			コ タロウ		生年月日	昭和●●	年	•	月	•	В	電話	011-0	000-	••••
氏名		札幌 太郎					年齢	38 歳	性	別	■ 男		女	FAX	011-	-	••••
住所		札幌市●区●条西●丁目●●															
医療的ケア		ロな	ありの場合 病名(□ なし □ あり □ 透析 □ 人工呼吸器 □ たん吸引 □ 経管栄養 □ ストーマ装具) -マ装具		
周辺の ハザード マップ の状況		■ 洪水(氾濫流、河岸浸食含む				浸水想定							3m 未満		2		
										n 未満 □ 5m 以上~10m 未満 □ 10m 以上 内水氾濫 【浸水の深さ: 0.3~0.5 床下浸水 】							
			名				中央小学校								_		
	避難場於	听候補	住	所									食べ物(食べなれたもの)	水	衣類下着		
					成レベル1 明注意情報)		避難支援者と連絡をとりながら自宅で待機。 テレビや札幌市HPなどから気象情報に注意。					持ち	薬	お薬手帳			
風					成レベル2 ・洪水注意報	i) i	避難時の持ち物を準備し、避難経路を確認。				物						
水害	避難方法避難経路		警戒レ/ (高齢者		レ3/警戒レベ, 『避難)/(避難指	レ4 元) H	避難所の開設状況を「さっぽろ防災ポータル HP」や「さっぽろ防災アブリ『そなえ』」から確認し避難を開始。				避難時の共通事項						
			・ 父母 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	∄の支担 推。 推所では ○利用剤 3日(月	爰が難しい場合は は周囲の環境から が望を避難所の 引水金)は通所	Eめ、同居の父母と一緒に避難。 は、日ごろから面護のある、近隣の北海さんと一緒に、中央小学校 5落ち着かなくなり大声を出すこともあるため「福祉避難スペー 受付で伝える。 Eしているため、通所先で災害が発生した場合は、父母と連絡を取 そのまま避難するが、難しい場合には、父が車で迎えに行く。				配慮							
	避難場	听候補	名称 住所				中央中学校					が必要	必 避難場所では にうまく伝え		t、困りごとを周囲 tられないことがあ		
		71124113			札幌市●●区●条西●丁目●●							要なっ	るので、適	切な声掛けが必要			
地震	避難方法。	・父母 難。 ・避難	 避難には付添いが必要なため、同居の父か母と一緒に避難。 父母の支援が難しい場合は、日ごろから面談のある、近隣の北海さんと一緒に、中学校に避能。 避難所では周囲の環境から落ち着かなくなり大声を出すこともあるため「福祉避難スペース」の利用希望を避難所の受付で伝える。 								こと						
						住所	:	札幌市●●		条西	●丁目●	•		本	人との関	係	父
		氏	5名 7	札够	晃 一郎	電話	090-)-●●●-●●● 平常時の外部への			『への情	■ 同意する				意しない	
避難支援						支援	■ 情報伝達 ■ 安否確認 □ その他(刃心	■ 避難準備 ■ 避難付き添い)					
		援者				住所	札幌市●●区●条西●丁目●●				•		本	人との関	係 近	隣の方	
		氏	:名	北海 三郎		電話	090-	●●●●●●●●●●●●			『への情	報提供	•	同意する	3 🗆 🖪	意しない	
						支援内容 □ 情報伝達 ■ 安否確認 □ 避難 ■ その他(同居の父母が支援できない場											
■ 徒歩 □ 道具が必要 〈 □ 車いす □ つえ □ その他 【 】] >							
避難場所までの移動 ■ 介助が必要 ○ □ 体を支える ■ 見守り □ その他 【])								
					移動に使	用でき	る車の有	ョ無 ■	あり	運転	手(父) 🗆	なし

作成支援者	氏名	福祉 太郎		所属事業所•団体名	相談支援事業所●●●			
下风又及日		011-•••-••	FAX	011-•••-••	E-mail	qi.••••••		